

平成 23 年度花畑自治会総会が 4 月 1 日（日）開催！！

去る 2 月 11 日（土）10：00～第 4 回役員会が開催されました、23 年度役員各位は任期が 1 ヶ月余りとなり、次年度へ向けて決議事項が山積の会合となりました。出席者は 16 人（総数 20 人）で会は成立して、会長挨拶のあと議事の討議に入り、下記の事項が決定しました。

- ① 平成 23 年度の花畑総会の開催日時は平成 24 年 4 月 1 日（日）午前 10：00 からとする。
- ② 総会の開催案内は 3 月 1 日、15 日の回覧で周知する。
- ③ やむを得ず欠席の場合は委任状の提出をする。
- ④ 委任状は 3 月 1 日、15 日の両日回覧しますのでどちらかに記帳捺印をお願いいたします。
- ⑤ 委任状の回収は 3 月 25 日に予定します、第 5 回役員会で自治会長宛提出してください。
- ⑥ 会員名簿の確認をしていただきましたので平成 24 年度は確認済みの名簿が正式な形となります。
- ⑦ 次期役員（班長代表、班長）が決まりました。後日通知をいたしますのでよろしくお願いいたします。
- ⑧ 平成 22 年度総会で承認を受けましたが、預金通帳を 1 本化した経緯を総会に報告する。
- ⑨ 平成 23 年度の会計監査は 1 丁目班長代今井保雄さん、2 丁目班長代表川田千加志さんが担当します。

以上が決定事項で、役員さんには熱心な討議をいただきありがとうございました。

☆ 当日大震災のアンケートの回収をお願いし、その後も 2 回目をお願いをしました、会員各位の大変なご熱意で 2 月 20 日現在 235 通（87%）の回答がありました、ご協力誠にありがとうございました。

平成 23 年度の花畑自治会を支えていただいた役員の方皆さん、ご苦労様でした！！！！



（撮影者は大塚副会長）

今井さん（1-1）、中島さん（1-4）、鬼沢さん（2-1）、川田さん（2-3）は都合で欠席

《シルバークラブを元気にしよう！！！！》

歴史ある当クラブが今ピンチの状況です、シルバークラブは自治会活動のバロメーター、何とか存続をしていかなければなりません。行政から団体として認定されるには 30 名以上の会員の確保が必要です。現在ぎりぎりのところで軽部会長が老体鞭打って頑張っています、この話が森さんから伝わり急場をしのぐ形で自治会執行部 3 名が加入し何とか 32 名の確保が出来ました。加入対象年齢は満 60 歳ですから花畑には該当する方がまだまだ居られると思います。シルバークラブが元気になれば花畑が明るく元気になります、希望者は今すぐ申し込みをしましょう。（連絡先：t e l 864-3151 軽部 昭）

花畑自治会の皆様へ

佐々木周子（玉取 2506-1）

東日本大震災から早いもので1年が経とうとしています。目を覆いたくなるような映像、耳は聞きたくない被害状況、まさか私達家族に犠牲者が出るとは、認めたくないことがおきてしまい、只只呆然とするばかりでした。

大震災の二日前、震度5強の地震があった時は「大丈夫だから」との素っ気無い返事が今も耳に残っています。家は跡形も無く流され、見るも無残な姿でしたが、奇跡的に不幸中の幸いと申しましょうか、主人、義母共々ほとんど無傷の状態で見つかり埋葬も済ますことが出来ました。

ふと思い返してみますと、仕事の関係で各地を転々とし、ようやく花畑に落ち着いたのが36年位前で、それから多くの方々と知り合い、主人も花畑の人達と親交を深め、玉取に引っ越してから皆様には、良いお付き合いをさせていただきました。

亡くなった後も「偲ぶ会」を催して下さったり、「復興義援金」を陸前高田市に送って頂いたり本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。皆様の気持が私の力となりお陰さまで元気になりました。

何卒これからも息子共々よろしく願い申し上げます。

花畑自治会の皆様、母を心配して家まで来てくださったり、ゴルフ等に誘って頂いたり、母の精神的な部分もケアして頂き、本当に感謝しております。未熟者ですが、今後とも宜しく願い致します。

長男 佐々木博司



3・4月のスケジュール

- ① ～3月20日 筑波山梅祭り
- ② 3月16日(金) 大曾根小学校卒業式 (99名が卒業)
- ③ 3月25日(日) 10:00～ 第5回新旧役員会
- ④ 4月1日(日) 10:00～ 平成23年度花畑自治会総会
- ⑤ 4月9日(月) 大曾根小学校入学式 (109名が入学予定)
- ⑥



“住環境を守る会からの報告”

最近、地震が多発しています、守る会ではいつ起こるかわからない地震災害に対応できる体制づくりを月に一度集まって協議を重ねています。花畑自治会にも自主防災会の組織はかなり以前から存在します、しかし突発的に発生する災害に対しては正直対応できません、今まで大きな災害がない状態では問題となりませんでした、3・11を経験して最近の状況を考えますと、このままでよいとは言えないと思います。守る会では今回、会員のご協力を得まして大震災の貴重な体験を教訓として、今後の自主防災会の糧にたくアンケートをお願いをしました、約240通にのぼる回答をいただきました、このデータを集計整理して機能する自主防災会の指針とさせていただきたいと思います。データの分析結果は4月1日の総会で発表させていただきますが、尚詳しい分析は5月の「花畑ニュース」でもご紹介をいたします、会員各位のご協力に厚い感謝を申し上げます。(守る会代表 小林)

《花畑ニュース3月号発行に当たって》

東日本大震災からほぼ1年が経ちました、復興はどのような形でどこまで進んだのか、原発の見通しはどうなのか、現在もまったく先が読めません。政治家の悪口を書こうと思って思いとどまりました。

佐々木一司さんとお母さんが犠牲になられて時間だけは経過しました、今回は奥様に寄稿をお願いしましたら快く引き受けていただきました、長男さんのコメントも添えていただきました。時間の経過と周囲の方々とのお付き合いで立ち直りつつあるとのこと何よりです。

テレビを見ていると素晴らしい人の紹介があります、岩手県大槌町で大勢のボランティアの方に食事から寝泊りまでお世話をするおせっかいおばさん(もちろんお金は取りません)の話題、ボランティアのありがたさに感謝の涙を流しながら面倒を見ている、感激しました。

(向井 記)